



防災倉庫のコスモス

すみれが丘

すみれが丘だより 平成 24 年秋号 (No.5)

発行：すみれが丘町内会、取材・編集：広報部会／ホームページ・広報誌編集委員会

～秋号の内容～

1. 平成 24 年度第 1 回組長会報告
 2. 第 3 回！すみれ夏祭りレポート
 3. 夏休みラジオ体操の会の風景
 4. 第 33 回敬老会が開催されました
 5. 町内会の施設・保有機材等の紹介
 6. おくやみ
 7. 秋から冬の行事のお知らせ
- <すみれが丘での活動団体のご紹介>

1. 平成 24 年度第 1 回組長会報告

平成 24 年度第 1 回組長会が 7 月 8 日（日）にすみれが丘会館で開催されました。この組長会は、今年度新たに組長になられた方に対して、諸連絡、今後の活動予定、担っていただくことのフォローのほか、困っていること、町内の問題などについて意見交換することを主な目的としています。

まず、町内会より、組長さんのお仕事についての改めての説明、防災・防犯・環境衛生部会の活動および活動予定の報告があり、今回はこのほかに都筑区総務課稲田氏による「減災出前塾」が実施されました。この中では特に自助の 3 つのポイントとして「住宅の耐震診断」「家具の転倒防止」「食糧、飲料水の備蓄」が紹介されました。

続いてこれらについての質疑や意見交換が行われました。主な Q&A は以下のとおりです。

<ごみについて>

Q. 回収後にごみ出しする方がいる。

A. “本日のごみは回収終了” というような札を付けるなど、対策を検討する。

Q. ごみを出せるのは本来 8 時までではないのか。

A. 横浜市では収集当日の朝 8 時までに出すこと

になっている。大興資源による資源集団回収（月曜日）だけが朝 8 時半である。

Q. 金曜日にビン以外のごみも出してよいのか。

A. いろいろ変更があったが、カン等の回収については下表のとおりで、町内会としては、回収費が町内会の活動費という形で会員に還元されるので、これらは月曜日に出して欲しい。横浜市でも資源集団回収を優先するように推奨している。

月曜日 (大興資源によるすみれが丘での資源集団回収)	金曜日 (横浜市による回収)
<ul style="list-style-type: none"> ・古紙、古布 ・アルミ缶、スチール缶、ペットボトル ・小さな金属類 (朝 8 時半までに出す) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン ・アルミ缶、スチール缶、ペットボトル ・小さな金属類 (朝 8 時までに出す)

<防災・減災について>

Q. すみれが丘小学校は災害時には医療救護拠点ではないが、救護が必要なときどうするか。

A. 直近は北山田小学校。ただし、各拠点への医師の配備は震災発生から 2～3 日後であり、それまでの応急処置は各自で行う必要がある。すみれが丘では、町内在住の医師の先生にすみれ小に来て頂く事も検討している。救護処置の必要な方が生じた場合は、組長さんから防災拠点（すみれ小に設置される）に連絡し、そこで医師の状況等に応じて対処するという体制を考えている。

Q. すみれ小への避難想定人数はどれくらいか。

A. すみれが丘の町民は約 4000 人だが、行政で想定している人数は約 1000 人である。

Q. 消火水槽はについて

A. 災害の際は消防団が消火に用いるもので、飲料には適していない。

町内会のホームページ (sumiregaoka.com) もぜひご覧ください (「すみれが丘町内会」で検索)

Q. 震災時には消火栓の水圧が下がるのでは。

A. 消火栓への配管は耐震管で出来ており、壊れること、水圧の低下はあまり想定していない。ただし、上流で漏水が起こり、給水できなくなる可能性はある。

Q. 災害対応に使える井戸の所有について。

A. 区にある井戸は9割以上が個人所有で、その他は事業所所有の井戸である。

Q. “減災行動のすすめ”のパンフレットや防災マップを各戸配布できないか。

A. 区には在庫がないが、ホームページにはPDFファイルが掲載されている。(町会会で印刷・配布を検討中。)



減災出前塾を開講

2. 第3回！すみれ夏祭りレポート

すみれが丘町内会が後援している、第3回すみれ夏祭りが7月21日(土)に開催されました。前日の雨も朝にはあがり、実行委員がグラウンドを整備して開催にこぎつけました。



復活した子ども神輿

今年はずまずお祭りの前に子ども神輿(みこし)が行われました。神輿が街に出るのは数年ぶりで、初めて見る子どもたちも多かったと思います。たくさん子どもたちが元気一杯かわるがわる担いで、すみれ小の周りを一周しました。

午後2時MC田中亜紀子さんの司会で、お祭りのスタートです。プログラムは次のとおりでした。

- 中川西中ブラスバンド演奏
- ダンス!ダンス!ダンス!
- 江戸芸かっぽれ・剣友会
- すみれ盆踊り(第1部)
- 紙ジャイロ飛ばし
- 創作エイサー&獅子舞
- ゆかたオンステージ
- すみれ盆踊り(第2部)
- ジャズタイム

後日実施されたアンケートでは、すみれ夏祭りの華、子供たちによるダンスがやはり一番人気でしたが、ゆかたオンステージなど参加型企画もよかったとの意見が多く寄せられました。今年は日本の伝統的な芸能等を披露する企画もあり、バラエティに富んでいたのが特徴でした。食べ物もおいしかった、とても楽しかったとの感想も多く、開催時期の関係で雨の対策など課題の指摘もありましたが、来年がますます楽しみです。



ダンスはすみれ夏祭りのハイライト

3. 夏休みラジオ体操の会の風景

毎年恒例の夏休みラジオ体操の会は、7月22日から29日の7日間で実施されました。

今年はちょうどすみれ夏祭りの翌々日にスタートしたこともあるためか、例年にも増してたく

さんの子供たちが集まってくれました。雨による中止もなく、毎日朝の光を浴びて元気いっぱいにて体操し、最終日には参加景品を嬉しそうに受け取ってくれました。



夏休みラジオ体操の会の様子

4. 第33回敬老会が開催されました

去る9月30日に「第33回すみれが丘敬老会」が開催されました。

会場のすみれが丘小学校体育館に集まった皆さんはまず記念写真の撮影をされ、その後観客席で、出し物を観覧されました。

今年は、荒牧会長のご挨拶、最高齢者（男性は石井正光さん、女性は尾田栄さん。お二人ともとてもお元気です！）への花束贈呈のあと、古橋彰さん（高座名：空巢家小どろ）による古典落語、岡田みのりさんによるストレッチ体操、すみれが丘小学校の皆さんによるハンドベル演奏と合唱が披露されました。

天気にも恵まれ、楽しい午後のひとときを過ごすことができました。準備・進行を担当された女性・福祉部会の皆様、お疲れ様でした。



記念撮影をしました



当日ご参加の最高齢の方への花束贈呈



すみれ小の皆さんによる合唱

5. 町内会の施設・保有機材等の紹介

町内会の施設や保有している機材にどのようなものがあるか、それらはどうすれば利用できるのか、意外と知られていないことがあるのではないのでしょうか。町内会にはすみれが丘会館、防災倉庫などの拠点に、いろいろな機材が保管されています。これらは会員の共有財産であり、基本的にはその要請に応じて活用いただけるものです。

そのほんの一部ですが、防災倉庫の中を写真でご紹介します。リヤカーや給水タンクなどが並んでおり、簡易トイレなどの備蓄品もありますが、ご覧のようにきわめて数は限られています。



防災倉庫の中身（意外とさびしい！？）

災害時の機材・備蓄品はすみれ小にある市の防災倉庫にもありますが、それも必ずしも十分とは言えません。災害発生時には各戸での備えがとてても大事であることがわかります。

なお、広報誌の限られた紙面ではこれらのすべてを掲載するのは難しいので、今後はホームページを使い、ご紹介していきたいと思えます。

6. おくやみ

平成 24 年 6 月以降、次の方々についてご逝去のお知らせをいただきました。こころよりご冥福をお祈り申しあげます。(敬称略)

平成 22 年 1 月	故 斉藤 清美	(16-11)
平成 24 年 1 月	故 木村 宏二	(11-54)
平成 24 年 6 月	故 大嶋 以ま	(37-3)
平成 24 年 7 月	故 皆川 ヤエ子	(11-50)
平成 24 年 8 月	故 原 健史	(28-4)
平成 24 年 8 月	故 寺畑 和子	(11-14)
平成 24 年 10 月	故 安原 信夫	(42-19)

7. 秋から冬の行事のお知らせ

すみれが丘町内会では、秋から冬にかけて、以下のような行事を予定しています。

- (1) 餅つき大会 (体レク・子ども部会)
・昨年に続き、第 2 回の餅つき大会を 12 月 2 日 13:00 からすみれが丘小学校校庭で行います。
- (2) どんど焼き
・お正月恒例のどんど焼きは、年が明けた 1 月 13 日に実施します。点火 10:00。組長さんには福枝の準備などご協力をお願いします。
- (3) その他
・赤い羽根共同募金、消火器詰替、年末助け合い募金、けやき通り清掃 (11~12 月)、年末パトロール、更生保護バザーなどを秋から冬に実施予定です。ご協力、ご参加をお願いします。

<編集後記>

※前号で、初夏号を冬号と誤記しました。お詫びします。
※町内の各種の団体の活動について、ご紹介します。ご希望のかたはご連絡ください。

*記事・記者募集!!

※ホームページや広報誌の記事作成、取材記者、編集委員を募集しています。下記担当までご連絡ください。

担当：広報部会副部長 西 浩司

電話：594-1971、メール：info@sumiregaoka.com

<すみれが丘での活動団体のご紹介>

始めませんか！

できる時にできること、のお手伝い！

すみれが丘けやきの会

私たち“すみれが丘けやきの会”は、“できる時に、できることを お手伝い”を合言葉に、“すみれが丘”が世代を超えて、住み易く、住み続けたい街であり続けるようにとの願いから二年前に活動を始め、現在 20 名のボランティアが活動しています。

私たちの活動は次の二つです。ひとつは、障害、加齢、その他の事情により日常生活にチョットした手助けを必要とするの方々のお手伝いで、①通院や買い物、外出等の同行、②買い物の代行、③道路や庭などのお掃除、水遣り、④家具の移動、⑤ごみ出し、⑥囲碁・将棋やお話しのお相手などですが、その他会員のできることはご相談に応じていますので、ご希望の方はなんなりと事務局にご相談下さい。

もう一つは元気づくりステーション「わくわく」の企画運営です。「わくわく」は、いつまでも元気でいたいという方々と一緒に野鳥や草木花を観察しながら緑道を散歩するというものですが、25 人の方々の参加があり、第 1 回目の野鳥観察ウォークを 10 月 3 日に実施しました。



第 1 回「わくわく」野鳥観察ウォーク

すみれが丘けやきの会の“できる時に、できることを お手伝い”の活動に、皆さまのボランティア参加をお待ちしています。

<連絡先>

すみれが丘けやきの会

代表 岸本圭司 (電話 591-0484)

事務局 東山田地域ケアプラザ (電話 592-5975)